

問ふ、当体蓮華<sup>げ</sup>解し難し。故に譬喩<sup>ひ ゆ</sup>を仮りて之を顕はすとは、経文に証拠有るか。  
答ふ、経に云はく「世間の法に染まらざること、蓮華の水に在るが如し、地より涌  
出す」云云。地涌<sup>じ ゆ</sup>の菩薩<sup>ぼ さつ</sup>の当体蓮華なり。譬喩は知んぬべし。以上後日に之を改め  
書すべし。此の法門は妙経<sup>しよせん</sup>所詮の理にして釈迦如来の御本懷<sup>ほんがいはい</sup>、地涌の大士に付嘱せ  
る末法に弘通せん経の肝心なり。国主信心あらんの後始めて之を申すべき秘蔵の法  
門なり。日蓮より最蓮房<sup>さいれんぼう</sup>に伝へ畢<sup>おわ</sup>んぬ。

日 蓮 花 押